



# プロバスだより

## 第329号

2023年4月13日発行

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2022～2023年度 テーマ

プロバスライフを元気に楽しむ すこしずつ動きだそう

### 第 329 回 例会

日 時 令和 5 年 3 月 9 日 (木) 12 : 00～14 : 15  
場 所 八王子エルシィ  
出席者 32 名 出席率 69 %  
(会員総数 50 名、欠席 14 名、休会 4 名)

#### 1. 開 会 土屋例会副委員長

第 329 回例会の開催を告げ、配布資料の確認。

#### 2. 会長挨拶 池田会長

温かくなりました。お出かけが楽になったかと思えます。

今月 19 日はいよいよ小中学校音楽祭の本番です。実りある楽しい一時を期待しています。各会員の皆さんの御協力をお願いいたします。



コロナ禍による影響も少しずつ薄まり、人の動きも活発になってきました。研修委員会の老年研究会を筆頭に古典鑑賞会、美術鑑賞会、教育を語る会など、同好会の活動も始まりました。是非参加して交流を深めてください。

地元サイエンスドーム八王子のプラネタリウムのご案内もしています。今年度の目標の一つ、「少しずつ動き出す」を実行していきましょう。

全日本プロバス協議会の活動も始まりました。こちらもしっかり応援していきたいと思えます。

#### 3. ハッピーコイン披露

池田会長からハッピーコイン 13 件が披露された。(2～3 ページに掲載)

#### 4. バースデーカード贈呈

2 月生まれの鈴木会員と 3 月生れの会員に会長手作りのバースデーカードが贈られた。



田中会員、鈴木会員、会長、根本会員、杉田会員

#### 5. 3 月のラッキーチャンス

今月のラッキー会員は下山会員、有泉会員、岩島会員の 3 人でした。

#### 6. 卓 話

内山会員による卓話は 3～4 ページに掲載

#### 7. 幹事報告 池田会長・代行

報告は 2 点あります。一つは今期活動の振り返りの一環として進めている会の情報管理の在り方についてです。クラブの会則や各委員会に関する規約などはありますが、時間の経過と共に担当者が変わり、引継ぎ等が不十分ということもままありますので、改めて再確認・整合を図っていきたく思います。一定の整理ができましたら改めて報告します。

もう一つは会の運営費等について見直しをする小委員会に関する報告です。今まで会員数の減少による収入減はお伝えしてきました。収入に見合った活動をするのが基本的な在り方ですが、かなり厳しいのが現状です。小委員会で検討を進めていますが、

皆さんのご意見も伺って改善策をまとめてゆきたいと考えています。

## 8. 各委員会からの報告

### (1) 情報委員会

河合委員長

・プロバスだより第 328 号を配布。今月の担当は有泉委員。卓話原稿・投稿等を頂いて、6 ページにまとめた。

・プロバスだよりへの投稿をお願いしていますが、原稿は Word 版で明朝体 11 ポイント、平文の状態を送ってください。

・2 月のホームページへのアクセス件数は 233 回。1 月に比べて 180 回も減少。今後ホームページの内容について見直しを進めて、改善をしてゆきたい。

### (2) 会員・研修委員会

杉山委員長

・本日例会後、会員・例会委員会を開きます。議題は新会員の候補者についてです。

・4 月例会の卓話は会員枠として岩島会員がスピーカーを務めます。議期待ください。

・老年研究会の 4 月 27 日のご案内を登録会員のポストに入れておきました。ご予約下さい。

### (3) 交流担当

一瀬担当理事

昨年 11 月の「東京八王子 2022」全日本プロバス協議会第 10 回総会・東京八王子大会に参加され、当八王子クラブの活動状況に接し、今後交流を進めたい旨の申し出が徳山プロバスクラブからありました。早速「プロバスだより」をお送りしましたが、今後相互訪問などを含めて交流の方法を考えていきたい。

#### 全日本プロバス協議会報告

一瀬幹事長

2 月 17 日に津軽の五所川原プロバスクラブの例会に田中会長と参加し、交流を深めてきました。ストーブ列車での例会、その後の懇親会も含めて温かいおもてなしに加え、ローカル色豊かな雰囲気感銘を受けました。

3 月 13 日には旭川プロバスクラブの例会を訪問する予定です。

全日協への賛助会員の登録は 2 月末で、全国の 8 クラブから、さらに個人からの申し出が 41 名となり、賛助額は 70 万円となりました。過去最高のご芳志額であり、ご協力に心から感謝申し上げます。

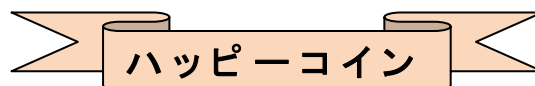
## 9. プロバス賛歌斉唱

### 10. 閉 会

池田会長

内山会員の 2 回にわたる「仏像の見方」の卓話は大変勉強になりました。ありがとうございます。これから実際に拝観する機会を作ってくださいとのことで、楽しみにしております。

次回 4 月例会にも、皆さんどうぞお元気でお出かけください。



◆3 月 5 日レクリエーション大会にシニアダンディーズが出演してくれまして、大変喜ばれました。

ありがとうございます。塩澤 迪夫

◆音楽祭の準備、ご苦労さまです。成功を祈ります。

下山 邦夫

◆3 月 5 日シニアダンディーズが久し振りに「いちよホール大ホール」に出演しました。「八王子レクリエーション大会」です。楽しく歌いました。今年は秋に JCOMホールで大きな大会があるのでチャレンジします。

立川富美代

◆一昨年春、第二腰椎圧迫骨折で暫し腰痛症状。杖を使用していたが秋頃から無杖に。始めたのが NHK ラジオ体操。朝 6 時起床、6 時 30 分から第 1・第 2 体操を 10 分間、昨年一年間は休まず実行。妻から皆勤賞が。今年も頑張ります。

武田洋一郎

◆少しずつ出席するようにします。よろしく願います。

永井 昌平

◆春・はる・ハルこれ程うれしきことはなし！！

杉山 友一

◆昨日は山梨県産グリーン水素開発施設の見学会に行き、施設見学の他ワイン工場見学、試飲等してきました。楽しいバス旅行でした。日本の未来を担う水素を作る、貯める、運ぶといったフローなど最新のエネルギー技術を学ぶことが出来ました。

飯田富美子

◆双子が小学校に入学します。ランドセル姿をいまから楽しみにしています。

飯田富美子

◆3 月 19 日の音楽祭が近づいてきました。昨年 7 月から、迷いつつ、教えられ、助けられて、何とか準備が整いました。本番への協力よろしく願います

す。馬場 征彦  
◆たて続けに、何とひ孫が2人生まれ、遂に「ひいじいちゃん」になってしまいました。有難いことだと感謝！

◆WBCの優勝を願って。野口 浩平  
◆人生 100年と言われる時代、フルに生きても20年。まだまだ楽しみたいことがいっぱい。しっかり計画を立て有意義に過ごしたいと思います。プロバスクラブの先輩たちに見習って！！ 根本 照代

◆23年3月11日、誕生日、東日本大震災。嬉しくもあり、悲しくもあり。杉田 信夫

◆ぼかぼか陽気のお誘いで、富士森公園の早咲き桜が大分花開いています。HAPPY！ 山口 三郎

### 3月例会の卓話

#### 仏像の見方 仏の心再発見 第2回

内山 雅之

前回に引き続き仏像の見方についてお話しします。



#### (1) 材質と技法

材質は飛鳥白鳳時代には銅造が主流、天平時代は塑造と乾漆造が、藤原・鎌倉時代は木造が主流、室町以降は前半が銅と塑像、後半は木造が主流となる。

技法について

##### ① 銅造

木の枠組みに粘土で型を作り、蜜蝋を使い原型を作り、その蝋を溶かして銅を流し込む方法。

##### ② 塑造

木枠に縄を巻き、粘土を塗って仕上げる方法。

##### ③ 乾漆造

木で原型を造り、麻布を漆で張り付け、木屎漆で仕上げる方法。

##### ③ 木彫

一木造と寄せ木造りがある。一木造は干割れを防ぐため木心を取り除く。寄せ木造りは複数の材を組み合わせて造る方法。

#### (2) 時代別の特徴

飛鳥白鳳時代は中国渡来人の作が多く、顔は日本人離れをしている。目に特徴がある。杏仁形という。仏師は鞍作止利（止利仏師）など渡来系人。

天平時代は渡来人の作も一部にある。日本人の作

品が増えてきている。

平安時代は、氏名は不詳であるが、優れた仏像が生み出された。

藤原時代は、和様を基調にした優美な仏像が現われてきた。いわゆる定朝様式といわれるもので、後世に大きな影響を与えた。

鎌倉時代は、武士の世に相応しい清新な様式を備えた鎌倉彫刻が生み出されていった。特に慶派の活躍が目覚ましい。

室町時代以降は、特に傑出した仏師は現われなかったし作品も少ない。代わって木喰、円空による鈍彫が出てきた。

#### (3) 仏師の流れ

日本の彫刻史上、日本人として最初に現われるのは康尚、次いで定朝。その後、院助を初めとする院派の仏師たち、円勢を初めとする円派の仏師たち、そして康慶を初めとする慶派の仏師たちが各種の仏像を制作した。慶派では運慶・快慶が有名。

#### (4) 仏像制作の意図

##### ① 釈迦如来

最初に伝来した仏像であり、貴族や民衆の信仰を集めた仏像。

##### ② 薬師如来

この世の病を癒し、この世を幸福にしようとする願いを込めて制作、信仰された仏像。

##### ③ 阿弥陀如来

死後も西方極楽浄土に行きたいという願望が貴族から一般民衆に至るまで広がり、信仰を集めた仏像。

##### ④ 観音菩薩

場所、時に応じて様々な形で現われ民衆を救済する仏として古くから信仰されてきた仏像。

##### ⑤ 地藏菩薩

現世利益の他に死んだ人をも救済することから平安時代以降宗派を問わず造立、信仰された菩薩像。

##### ⑥ 明王

不動明王は密教において崇拝されてきた仏像。祈禱は怨敵、悪人などを調伏すると捉えられて崇拝されてきた仏像。

##### ⑦ 天部



## 俳句同好会便り

庶民の仏である天部は、毘沙門さま、大黒さま、弁天さまとして幅広く信仰されてきた仏像。

### (5) 仏像の鑑賞方法

#### ① ロマン的仏像鑑賞法

仏像を対称とし叙事詩を綴る方法で、仏像鑑賞の道を教えた和辻哲郎「古寺巡礼」、亀井勝一郎「大和古寺風物詩」があげられる。

#### ② 実証的な仏像鑑賞法

仏像がいつ造られたか、この仏像はどこにあったかなど資料に基づき研究する方法。

### (6) 仏像を見るポイント

専門的な見方としては、仏像の大まかな姿態、服制、装飾、光背、台座などを見るとされているが、拘らなくても良い。

### (7) 終わりに

仏像の見方について駆け足で説明しましたので、説明に不十分な所があったかと反省しております。

仏像鑑賞に興味のある方と一緒に勉強会なり、仏像拝観も進めてゆこうと考えております。

(写真は「別冊太陽・仏像」より借用した。)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 万葉集の中のユーモラスな和歌

室町時代後期に生まれ、徳川期に入り、和歌とも、俳句とも独立したのものとして狂歌が盛んになった。が、万葉集の中にもユーモラスな狂歌に似た歌が幾つかありました。杉本苑子「私の万葉集」よりヒントを得たので紹介します。万葉集巻二相聞にある。

石川郎女が田主に歌を贈った。

「風流の士と私は聞いていたのに泊めてくれないで私を帰しました。むざむざ私を帰すなんて鈍感な間抜け風流人ですわ」

これに対し、次の和歌を返した。

「今こそ私は解りましたよ。宿を貸さずにあなたを帰しちゃった私こそ、真実風流な男なのだ、とね」

石川郎女は更に辛辣なお返しをする。

「私、人の噂で聞いていた通りですわ。あなたの足は葦の先っぽみたいに弱くてひょろついているって…。どうぞお大事に遊ばしませぬ、田主様」

石川郎女は、何人もの男性を相手に恋のアバンチュールを試みた万葉女流歌人の中では額田王と双璧の熱い女ですが、その彼女ですら陥落させられない容姿端麗な男、その名は大伴田主でした。(雅)

### 私の一句〈三月の句会から〉

河合 和郎

句会場の2階の窓から紅梅、白梅が競うように咲き誇っているのが見える。春の訪れと共にようやくコロナ禍からも解放されそうだ。長かった3年間、句会は大いに盛り上がった。

空っぽのランドセル背に一年生 飯田富美子

これから6年間、どんな夢や知恵がランドセルを満たすのだろうか。新入生への温かい眼差し。

卒業す帽子高々空に舞ふ 馬場 征彦

制服・制帽の学生時代を偲んでの一句。みんなで一斉に帽子を大空に投げた。遠い青春の1ページ。

白粥の真ん中落とす寒卵 野口 浩平

風邪で食欲のないときなど、熱々の粥に卵を落として食べる。親の温もりは粥以上に温かった。

ヘブンにて愛し妻は花見かな 東山 榮

「天国の妻も今頃は花見を楽しんでいるのだろう」と亡き妻を偲ぶ。作者の心にも花びらが舞う。

淡雪を梢に散らす鳥の群 矢島 一雄

一読して風景が浮かぶ。平明な言葉で動きのある景を詠んで佳句。好奇心と観察眼は句作の源。

右頬にだれかが触れてあれは春 池田ときえ

誰もが潜った青春の門。遠く淡い思い出がよぎる。「あれは春」の表現が初々しくて切ない。

ダンボール草履にして土手に春 田中 信昭

段ボールを櫓代わりにしての遊び。子供時代の懐かしさに、満票に近い選を集めた。

クロッカス今年も我が家の春一番 下山 邦夫

毎年春の訪れを教えてくれるクロッカスの花への賛辞。「我が家の春一番」の表現がいい。

うららかや大仏様も眠たげに 河合 和郎

鎌倉の大仏様は春のうららかな昼下がり、とても眠たげなお顔をしてお座りであった。

### 編集後記：

音楽祭も無事終わりました。特集号とまでは組めませんが、挟み込みで作成しました。

情報・内山